

ダッハウ

ドイツのキリスト教社会福祉の歴史 「ディアコニー」検証-3-

2006.8.23-24

第2次世界大戦 強制収容所跡

ダッハウ強制収容所跡 1933年建設 国立記念施設 入場料:無料

第二次世界大戦が終わり連合軍が解放に来た時、奇跡的に生き残った人たちの中に、戦後のドイツの福祉を担った人たちがいた。マルチン・ニーメラー牧師もその一人である。

マルチン・ニーメラー牧師は第一次世界大戦のときは潜水艦(Uボート)の艦長として活躍したが、第二次世界大戦の時はナチスに抵抗したため捕らえられた。

下の写真30番の独房が彼の部屋だった。



←ダッハウ強制収容所入り口案内

入口の30メートルほど先から、泣き始める娘を抱きしめて気持ちを落ち着かせていた母と、娘がいた。かくまでも事柄を重大に受け止めているのだとあらためて教えられました。→



←「アルバイト・マッハト・フライ」

労働はあなたを自由にする
このスローガンはどの収容所
にも門に刻まれていた。

収容所全景写真→



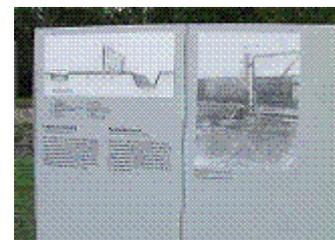
←独房棟

→マルティン・ニーメラーの部屋
だった



←牧師の告解の部屋

→収容所の周囲は高圧電流が
流れていて、越えることはで
きなかった。

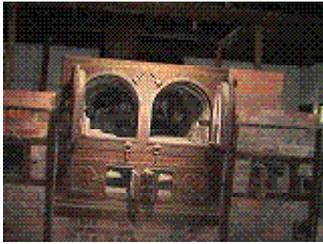


←集団棟





→焼却場



←焼却炉

→バス 二台連結



出口のバス停
見学を終えてほっと
くつろいだ様子



ダッハウの正門プレート盗難を報じる

新聞記事

2014年11月4日 朝日新聞



